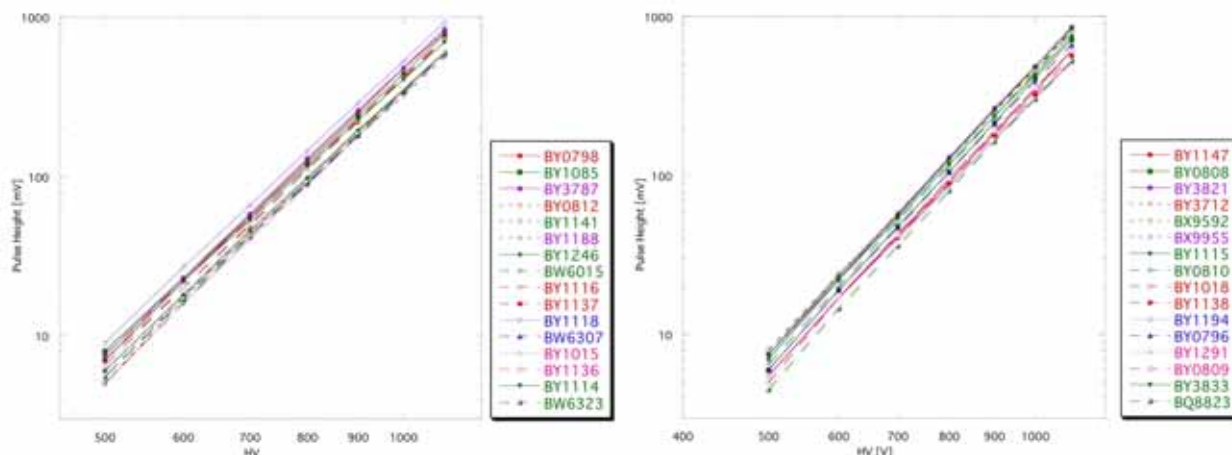


\* TED

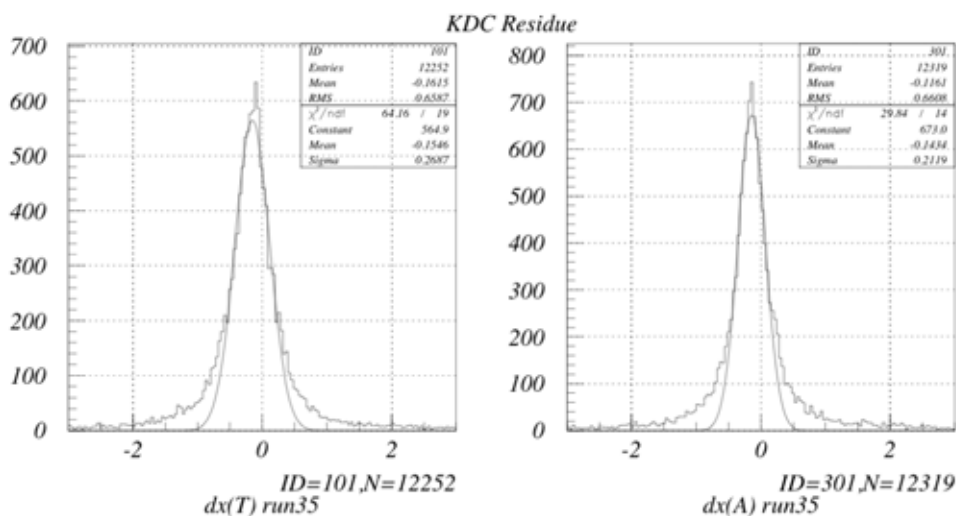
- \* 32本の3" φPMT (R6233)をNaI loght pulser を使って gain 等のチェックをした



- \* 予備のPMTが1本しかないので、あと2本ほど購入したい（1本は私のミスで割ってしまった）。
- \* TEDの支持架台を設計しているが、固定/位置調整と導通無を両立させる方法を考慮中。どうも世の中の有名なガンマボールはちゃんと検出器間を絶縁しているようだ。

\* PDC/PDCP (高橋、増子)

- \* Cathodeの電荷分布を測定する方法として、analog情報を直接処理するのではなく、time over thresholdのlogic信号巾を用いる方法を、3台のcathode drift chamberで試験。TDC resolutionが1 nsec/chでも、面当りの位置分解能約0.22 mm (rms)が得られた。なおanalogをADCを使って処理した場合の位置分解能は0.18 mm (rms)で、大きな違いはなかった（昨日の報告のADC側の解析は間違っていて、正しくやると大分改善した）。下図左はTDCによる位置測定による残差分布、右はADCによるもの。



- \* 現在は、cathode pitch=7mm, half gap=5mmの3台の小型cathode drift chamberを使って試験しているが、中央の1台を実際のPDCの構造に近いPDCPに交換して試験を続ける予定。

- \* PDC の約 870ch の cathode strip を独立に読出す方式として、この方式 (BPC, BDC, FDC1, FDC2 と殆ど同じ回路を使う) が多分一番単純で、予算的に最も安い (約 570 万円) 上、多粒子の測定も可能。
- \* FDC 2 架台 (千賀)
  - \* 先週 FDC2 架台を組み立てたが、FDC2 を乗せ、配線後に全体をつり上げる場合は考えてなかった。設計がほぼ終了。
  - \* FDC1 架台も、キャスターをつけて配線後も移動可能にする変更を考慮中 (ただし全体を吊るのは難しそう)。